

(初任者指導事例) (高等学校 英語Ⅱ)

1 授業日時、場所	平成 年 月 日 () 第 限 2年 組教室	2 指導学 級	2年 組40人 (男20人、女20人)
3 指導者	岐阜県立 高等学校教諭 Assistant Language Teacher	4 使用教材	Genius English Course I (revised) 大修館
5 指導単元	Lesson 10 No Chance Even to Say Goodbye		
6 単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ大リーグの名選手リッキー ヘンダーソンと、少女ファンとの心温まる交流を読み取る。 ・真の友人(a true friend)について自分の考えをまとめ英語で発表する。 		
7 配当時間	第1時間目 P.108 (会話) 第2、3時間目 セクション① 第4、5時間目 セクション② 第6時間目 セクション③ 第7、8時間目 セクション④ 第9時間目 P.115 (Comprehension)、P.117 (Exercises) 第10時間目 P.118 (English in Action) *本時		
8 本時の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のTarget Wordsを熟知し、例文により使い方を理解する。〈知識・理解〉 ・ペアワークとスピーチ発表により、他の人の考えを理解する。〈理解の能力〉 ・a true friendについて自分の考えを英語で表現することができる。〈表現の能力〉 ・英語で行なわれるクラスメートの意見発表に反応することができる。〈関心・意欲・態度〉 		

J=日本人教諭 A=ALT S=生徒 ・=留意点

過程	指導のねらい	学習活動	留意点および観点別評価												
導入 13分	<ul style="list-style-type: none"> ・本課のまとめを学習する姿勢をつくる。 ・作文の材料となる語の発音とスペリングの関係に注目し、発音を聞いて書けるようになる。 ・正しく発音することで、スペリングを覚えやすくする。 	<p>J 本時の学習内容を説明する。 "Open your textbook to page 118." 本時の学習が English in Actionの発展であることを説明する。 <学習内容> ①具体的な仲のよい友達(a good friend)と、自分が考える真の友人 (a true friend)についての作文をコミュニケーションにつなげる学習。 ②1対1の会話から1人がクラス全体にスピーチをする活動につなげる。 ③聞き手は他の人の意見を聞き、英語で反応する。</p> <p><Word Power > J 友人として好ましい性格、資質を表す語を生徒に聞き、Target Wordsとして板書して提示する。 S ノートに書き写す。終わったらスペリングを覚えながら待っている。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">板書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>①honest ②smart (書き出さない)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③serious</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④helpful ⑤trustworthy</td> <td></td> </tr> </table> <p>J "Repeat after (ALT's name)." (2回ずつ) S 発音を知るため、ALTについて練習をする。 J 発音とスペリングのポイントを黒板にまとめる。 "Repeat after (ALT's name)." (2回ずつ) S 発音とスペリングの関係を確かめてから再度練習する。 用紙配布 (別紙1)。 A 板書を消してからTarget Wordsを発音する。 S 聞き取り、用紙に書く。 S "Talk to your neighbors."の合図で周りの人と見せ合い、自信のないものを補って記入する。 S "Let's check the answers."の合図で前を向き答え合わせをする。 J "How many words could you spell correctly? Who got full marks? Four marks?" どのくらい正解したか挙手させて確認する。 J 生徒を指名しTarget Wordsの意味を確認する。 Handoutを配布し、意味を確認する。(別紙2) S Handoutにアンダーラインを引き正しく書けなかった語のスペリングを確認する。 J Handoutの⑥から⑩の語の発音と意味の確認をする。</p>	板書		①honest ②smart (書き出さない)		③serious		④helpful ⑤trustworthy		<ul style="list-style-type: none"> ・理解しているか、生徒の表情をよくみて話す。 S 本時のTarget Wordsを知り、Dictationをする。〈理解の能力〉 ・Jは生徒の発音を確認しながら一緒に発音する。 ・書き出さない語を入れることで、生徒の聞く意欲を高める。 ・全員が意欲的に活動に取り組むよう、机間指導する。 ・以下の点について、ポイントを板書する。 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>①のh、</td> <td>③のri</td> </tr> <tr> <td>④のful、</td> <td>⑤のth</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> S 1つでも多く正しく書けるように周りの人の答えと照らし合わせる。 〈関心・意欲・態度〉 ・4問以上正解した者をほめる。 S Target Wordsの意味を知る。〈知識・理解〉 ・正しく書けなかった語に注目させる。 S 本時の活動で使う語を確認する。〈知識・理解〉 	①のh、	③のri	④のful、	⑤のth
板書															
①honest ②smart (書き出さない)															
③serious															
④helpful ⑤trustworthy															
①のh、	③のri														
④のful、	⑤のth														

<p>展開 35分</p>	<p>・他の人の考えを聞き取り表に記入する。 ・人に話すために、自分の考えをはっきりさせる。</p> <p>・スピーチ原稿のHandoutにより、組み立て方と基本表現の使い方を理解する。 ・Lesson10の重要表現を使い、自分の考えを英語で表現する。 ・スピーチをまとめる。</p> <p>・自分の作文を使ってスピーチができる。 ・自発的に質問できる。</p> <p>・発表者は聞き手を意識して音読することができる。 ・聞き手は英語で評価することができる。</p>	<p><Let's Ask in Pairs> ペアによる活動（別紙2） J 活動の説明を日本語でする。会話の内容を書き込む。 "Please look at the section 'Let's Ask in Pairs' on the sheet. Look at the word list. Choose two qualities that you think a true friend should have. I'll give you one minute." 自分が特に大切だと思う語を2語選ばせる。 "I will show you how to ask. Now, Ask your partner." ALTと会話をし、活動の見本を見せる。 活動を終わったら着席するよう指示をする。 S "Hold your Pencil. Are you ready? Ready, go!" の合図で 起立し、ペアで会話をする。</p> <p><Let's Make a Speech> J 前時までに行った英作文をスピーチ発表につなげることを日本語で説明する。 スピーチ原稿（別紙3）を配布し、構成を整理する。 "First of all, we will finish writing the whole speech. Please fill in the blanks." 基本の表現の確認をし、プリントに書き込ませる。 基本の表現： ①Let me tell you about～ ②～ is the year when we met for the first time. ③I think a true friend should be ～and～. J Conclusionをまとめるよう指示をする。 スピーチをする際の留意点を確認する。 ・人に伝える気持ち ・voice volume声の大きさ ・eye contactアイコンタクト ・speed 速度 ・body language身振り</p> <p><個人練習> J "Let's go on to the presentation. We are going to practice twice. If you have any questions about pronunciation, just call me or (ALT's name). S "Are you ready? Ready, go!"の合図で起立し2回個人練習 をする。発音の質問があればする。</p> <p><Pair Reading> ペアでスピーチ発表 Jスピーチをする際の留意点を再度確認する。聞き手は発表 の評価をしてから交代するよう指示をする。（別紙3） J "I'm going to make a speech. So please listen to me."スピーチの見本を見せる。ALTは、聞き手の反応の見本 を 見せる。 S "Pair Reading!"の合図で起立し、スピーチをする。 J Aと共に机間指導し、生徒の補助をする。</p> <p><Let's Listen to Your Classmates> クラス発表 J 机間指導で選んだ生徒を2、3名指名する。 S 前に出てひとりずつ発表する。 J "Ask someone to make a comment."発表者に指名させる。 S 指名された聞き手の生徒は発表の仕方について英語で評価 をする。 A ひとりが発表するごとに評価をする。 J "He / She thinks that ～ and ～ are important qualities of a true friend. Who chose the quality? Put up your hand." 発表した生徒の選んだqualities of a true friendに注目し、同じ語を選んだかクラス全体に問いかける。</p>	<p>・特に聞き手の反応の仕方に重点を置いて説明する。 S 他の人の考えを聞き取る。<理解の能力> S積極的に自分の考えを伝えることができる。 <関心・意欲・態度> ・活動後、2、3人の生徒にどの語を選んだか英語で質問する。</p> <p>Sスピーチの組み立てを理解する。<知識・理解> S基本の表現の使い方を理解する。<知識・理解> ・特に、スピーチの構成がわからない生徒がいないか注意して机間指導をする。 ・関係副詞whenを弱く、発音することを確認する。 S基本の表現を使いスピーチを完成する。 <表現の能力> Sよいスピーチの仕方を理解する。<知識・理解></p> <p>S自分のまとめたスピーチを、音読することができる。 <表現の能力> S発音に関して自発的に質問することができる。 <関心・意欲・態度></p> <p>S話し手は人に伝える気持ちで音読する。 <表現の能力> S聞き手は相手の生徒のスピーチを聞き反応することができる。 <関心・意欲・態度></p> <p>S発表者は留意点に注意してスピーチをする。 <表現の能力> S代表生徒のスピーチを聞き、反応することができる。 <関心・意欲・態度> ・ALTは主に文の内容について評価をする。 ・必要ならより簡単な英語で言いなおす。</p>
<p>まとめ 2分</p>	<p>・本時の学習を振り返る。 ・次回の予告。</p>	<p>J 次の2点を強調して日本語で本時のまとめをする。 コミュニケーションにおいて、 ①伝えたいことがあれば、表現してみようとするのが大切。 ②相手に適切に反応すること。</p>	<p>S コミュニケーションで、大切なことを確認する。 <知識・理解></p>